

(社)日本建設機械化協会中国支部
中国地方整備局と意見交換会開催

配置予定技術者等の技術評価を要望

(社)日本建設機械化協会中国支部(中村秀治支部長)と中国地方整備局との意見交換会が3月2日広島市中区KKRホテル広島であった。業界が直面する諸課題について議論を交わし、その中で協会側は配置予定技術者等の技術評価や建設機械施工技士制度の活性化などを要望した。

意見交換会には、中国地方整備局から山中義之企画部長を初め6人が出席。一方、協会から中村支部長をはじめ12人部会長等が顔を揃えた。

冒頭、中村支部長が「当支部では、支部活動活性化を目的としてアンケート調査を実施。このアンケート調査で示された支部会員の要望などを本日の意見交換会でお伝えし、今回、初めて意見交換会が開かれたことは、支部会員にとってより魅力ある中国支部になるものと思われる」と挨拶した。

続いて山中企画部長が挨拶に立ち、情報化施工など最近の話題についてふれたあと良質な社会資本の整備が本来の目的だが、こうした面でも国民の理解が得られればと思う。そうしたことも念頭に置き協会活動を進めて欲しい」と述べた。

このあと、意見交換会に入り、次頁にありますように実のある意見交換がなされ、高倉副支部長の閉会挨拶で閉会した。



〈あいさつをする中村支部長〉



〈出席者 中国地方整備局〉



〈出席者 日本建設機械化協会中国支部〉

意見交換会要望事項

1. 公共工事の品質確保の推進について

1) 配置予定技術者等の技術評価について

工事（点検整備業務・除雪作業も含む）の施工において、配置技術者並びにオペレータ個人の技術・技能が品質確保のうえで重要な位置を占めるようになっており、それぞれ、有資格者の配置（または資格によっては管理技術者要件）の義務化について検討して頂きたい。

(1) 道路除雪講習修了者の取り扱いについて回答

中国地方整備局管内では除雪作業は、維持作業の中に含まれて発注されており、主たる作業の経常維持作業等で資格要件等は検討されており除雪作業単独の資格要件は難しい。

但し、道路除雪講習会において継続学習（CPD）を出せば、配置予定技術者の評価に継続学習（CPD）は加算点となります。

(2) 建設の機械化施工優良技術者表彰者の取り扱いについて回答

中国地方整備局での表彰については、中国地方整備局、各事務所表彰、建設マスター等国の表彰についてのみ配置予定技術者の評価に加算しており、各種団体の表彰については難しいものと思われませんが、優秀な技術者として工事成績等で頑張ってもらいたい。

(3) ポンプ施設管理技術者の取り扱いについて回答

機械設備工事においては、建設業法との関連から国家資格以外は難しいが、点検整備業務については、既に各事務所、県等地方自治体で取り入れられているので確認して欲しい。

(4) ダム施設点検整備業務において、配置予定の管理技術者の実務経験の取り扱いについて回答

この件につきましては外からも指摘が出ており、来年度の点検業務の発注にあたっては指摘の内容について大幅に見直しで検討をしております。

2) 建設機械施工技士制度の活性化について

建設工事現場においては、事故防止は最重要課題であり、安全管理の役割は非常に大きい、そのような背景の中、一定規模以上の工事あるいは、急斜面、軟弱地盤等特殊な施工現場においては、建設施工技士を安全管理担当技術者として、専任での配置の義務付等ご検討頂きたい。

(1) 資格取得者のメリットの取り扱いについて回答

一定規模以上の工事では建設機械施工技士は、土木施工管理技士と同程度の資格として扱っており、工事の他、発注者支援業務などにも同様な扱いとしている。

また、規制の緩和等から新たに規制を掛け工事毎に技術者が増えるのは時代の流れに合わないものと思われるが、今後もより実態を聴かせて欲しい。

(2) 実地試験の試験実施方法について回答

昭和36年から始まった、歴史ある資格制度であり、当初の目的からすれば、建設機械を効率的に使うためにも建設機械操作試験は重要であったと思われると共に、技能講習免除特定自主検査者の資格が得られることから建設機械操作試験は必要ではないかと思われるが、時代も経過しており最近の状況も変わっていると思われるので、今後もより実態を聴かせて欲しい。

2. その他要望事項について

1) 当支部事業（広報、講習会、研修会、発表会）の充実について

当支部では、年間の事業計画として建設技術講習会等各種事業を実施しておりますが、開催に当たって会員から国土交通省からの情報提供が強く要望されています。ご多忙とは思いますが、最近の建設行政の情報提供と共に御講演、課題発表等を宜しくお願いいたします。

(1) 当支部事業（広報、講習会、研修会、発表会）の充実について回答

これまでも行っておりますように、要請があれば引き続き協力してゆきたい。

2) 21年度国土建設フェアについて

諸般の事情により20年度は、国土建設フェアは休止となりましたが、当支部会員からも広報活動の場として規模を縮小してでも、技術的なものを中心に是非再開して欲しいとの要望が有ります。来年度以降再開に向けての検討を宜しくお願いいたします。

(1) 21年度国土建設フェアについて回答

20年度国土建設フェアは、道路特定財源の問題等から中止をしましたが、先般21年度国土建設フェア開催に関する意識調査結果について資料に基づいて説明。

民間企業が主体となり、中国地方整備局が後援し、中国技術事務所にて、展示主体とした国土建設フェア（仮称）が開催された場合、貴協会も参加できるかどうか今後も検討していただきたい。

3) 災害時における中国地方整備局所管施設応急対策業務について

災害時における中国地方整備局所管施設応急対策業務に関する協定書が締結されたことから中国地方整備局で実施されます、情報伝達訓練災害対策用機械の操作訓練等に当支部も参加させていただき、災害時に実のある協定としたいと考えております。

(1) 災害時における中国地方整備局所管施設応急対策業務について回答

中国地方整備局としては、9月に実施する情報伝達訓練に（社）日本建設機械化協会との情報伝達訓練に組み込めるかどうか今後協議をしたい。

また、操作訓練においても側面的な援助を頂きたい。

* 意見交換会の詳しい内容は平成21年3月27日付けで会員に送付しております「中国地方整備局との意見交換会議事録送付について」をご覧ください。

〈 中建日報 3月5日掲載〉



〈建設工業新聞3月9日掲載〉

中国支部行事の紹介

今後の講習会等行事予定

日時	行事名	内容	参加者
21年 4月16日	第24回新技術・新工法発表会 場所：広島国際教育センター	新技術・新工法発表課題 ①湿式断面修復工法「ジョツク・クリート工法」 ②プラス工法「ボックスカルバート水中連続方式」 ③トンネル施工の情報通信技術「TLAN・sopt」 映像による最近の機械化施工の紹介 ①岩盤を掘る ②対人地雷処理機開発プロジェクト ③「ハイブリッド振動遮断壁工法」 ④暮らしを支える地下空間を築く ⑤スリムケーソン工法の紹介	一般 募 集
6月 9日	第58回中国支部通常総会 場所：ホテルセンチュリー21広島	平成21年度事業報告書及び同決算報告書 平成21年度事業計画案及び同収支予算案	会 員
	建設の機械化施工優良技術者表彰 場所：ホテルセンチュリー21広島	運転・整備部門、管理部門、技術開発部門	推 薦 者
6月21日	通常総会記念講演 場所：ホテルセンチュリー21広島	演 題：未 定 講 師：広島大学大学院 教授 中村秀治	会 員
	建設機械施工技術検定試験 広島会場：広島工業大学	学科試験 1級、2級 申込受付 3月16日(月)～4月10日(金)	申 請 者

注1、当協会で開催する講習会、発表会、研修会等は、土木施工管理技士、RCCM、技術士等有資格者の継続学習制度(CPDS)等の学習プログラムとして認定され、参加者には受講証等を発行いたしますので、是非参加してください。

12月からの講習会等行事報告

■「新工法・新技術セミナー&講演会in広島」の開催

日時：12月11日（木）
場所：国際教育センター
参加者：110名
内容

- ・基調講演：地盤工学と地下水問題
- ・モニタリング可能な新しい補強土壌工法
- ・ハイジュールネット工法

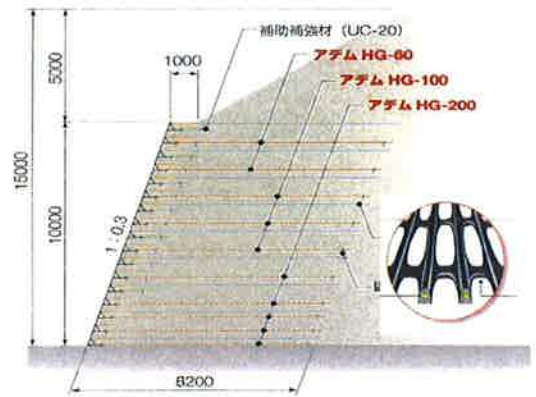
特長

- 250kJ～3,000kJまでの新工エネルギーに対応しています。
- 支柱高さ、スパン長の種類が豊富で現場地形の対応が簡単です。
- 地形変化を伴う基礎が不要です。
- 腐石発生後の補修が簡単です。



〈ハイジュールネット工法〉

■ HG タイプ使用の場合



〈モニタリング可能な新しい補強土壌工法〉

■「土質改良セミナーin広島」の開催

日時：3月18日（水）
場所：はつかいち文化ホール
参加者：213名
内容

- ・現場循環型工法への取り組みについて
- ・NETIS新技術情報システムについて
- ・プレゼンテーション
土質改良現場の今を伝える自走式土質改良機
リテラの紹介
- ・能登半島地震に耐えた土質改良工法
- ・循環型社会を目指した重金属汚染発生土のリサイクル提案について
- ・固化剤（セメント・石灰）の特性について



〈プレゼンテーション〉

情報化施工研修会のご案内 ～ICT建設機械の現地研修～

社団法人 日本建設機械化協会

（社）日本建設機械化協会は、3次元データを利用した建設機械制御に関する実践的な教育により、情報化施工に対応できる技術者を育成することを目的として、昨年7月より「情報化施工研修会」を開催しております。次回の研修会は下記日程で実施することとしておりますので、研修生の募集についてご案内申し上げます。

記

1. 開催日： **平成21年 5月21日(木)～22日(金)**
(以降、7月16日(木)～17日(金)、9月10日(木)～11日(金)の開催を予定。開催日の追加・変更など最新情報については当協会ホームページにてご確認下さい。)
2. 場所：（社）日本建設機械化協会施工技術総合研究所（静岡県富士市大淵3154）『情報化施工・安全教育研修センター』
3. 主催：社団法人 日本建設機械化協会
4. 対象：建設現場管理者、建設機械オペレーター、その他マシンコントロールの体験あるいは習得を希望する方。（現地研修は道路路盤工で実施）

* 研修会のコース、参加申し込み書等は当支部ホームページをご覧ください。

■ 新入会員紹介コーナー

盛土補強・軟弱地盤安定材をはじめとした、
ジオシンセティック環境資材のパイオニア



前田工織株式会社

所在地 [〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3]

代表者 [代表取締役社長 前田 征利] 設立 [昭和47年11月25日]

電話番号 [0776-51-3535] FAX番号 [0776-51-3545] URL [http://www.maedakosen.jp/]

広島支店 [〒732-0825 広島県広島市南区金屋町3-13 TEL: 082-262-5555 (FAX 5565)]

経営理念

Products/Service index 製品・サービス インデックス

「人・大地・繊維」を融合して「知恵と技術」で
「地球との共生」を実現します。



日東河川工業株式会社

所在地 [本 社 〒760-0007 香川県高松市中央町5番3号]

所在地 [広島営業所 〒731-0102 広島県広島市安佐南区川内6丁目27番43号]

代表者 [代表取締役社長 向阪 敬] 創業 [昭和28年11月]

電話 (広島営業所) [082-870-6602] FAX [082-870-6603]

水のある豊かな暮らしの創造

URL [http://www.nittokasen.co.jp]

昔から文明は水の力によって支えられ、水から文化が発展してまいりました。水を活かし水とともに生きることが人類の宿命なのです。だから私たちは昼夜を問わず、流れつづける水を一滴でもムダにはできません。

「日東河川工業」は水門の総合メーカーとして、その貴重な水資源を長年の信頼と実績をバックボーンに、独自のテクノロジーを駆使し、より自然な水の流れを見つめ、もっとも最適な流れを読みとり、最新の水門・除塵設備などを製作してまいります。

最近の実績



〈島根県 京橋川水門〉



〈青森県 指久保ダム取水設備〉

■ 国土交通省コーナー

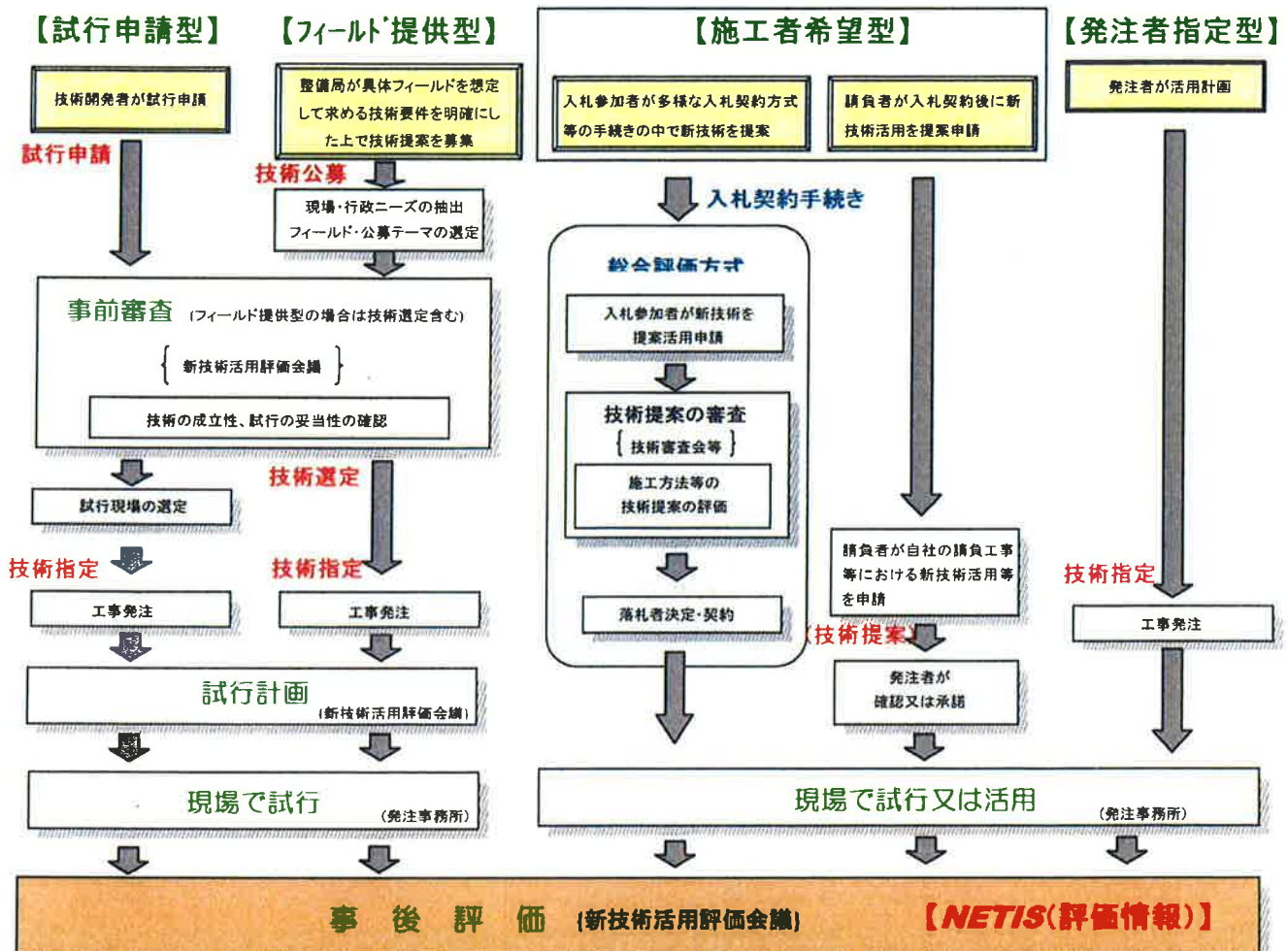
「公共工事等における新技術活用システム」を活用しよう！！

新技術活用システムは、民間により開発された新技術を公共工事において積極的に活用していくためのシステムです。これを活用し、またその新技術を使用することで、それぞれメリットがあります。上手に活用しましょう。

※詳細は検索『NETISホームページ』で。

NETIS登録から活用までのプロセス

NETIS登録 【NETIS(申請情報)】

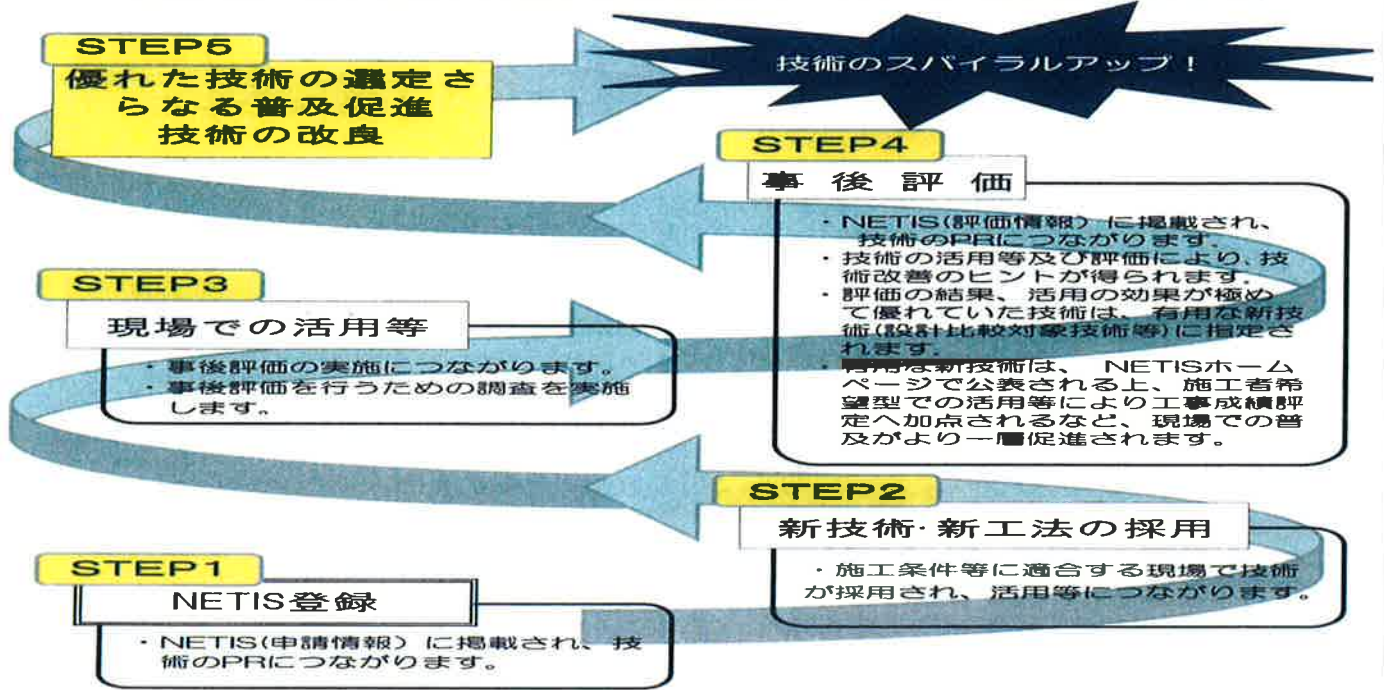


(注)活用等の型について

- 試行申請型：直轄での活用実績が少ない（10件未満）の技術を対象に、NETIS申請者の試行申請に基づき試行及び事後評価を行う型です。実績がある場合、事後評価のみを行うこともあります。
- 発注者指定型：直轄における現場ニーズ、行政ニーズにより、必要となる新技術を発注者の指定により活用し、事後評価を行う型です。
- 施工者希望型：総合評価方式の入札契約手続きにおける技術提案又は請負契約締結後における技術提案申請に基づき、施工者がNETIS登録技術の試行又は活用し、事後評価を行う型です。
- フィールド提供型：現場ニーズ等により、各地方整備局等がNETIS申請者から新技術提案の募集を行い、フィールドを提供し、事後評価を行う型です。

【NETISに登録したらどんな良いことがある！！】

- NETISに登録すると、開発した新技術の活用促進、事後評価で技術改善のヒントが得られるため、技術のスパイラルアップにつながります。

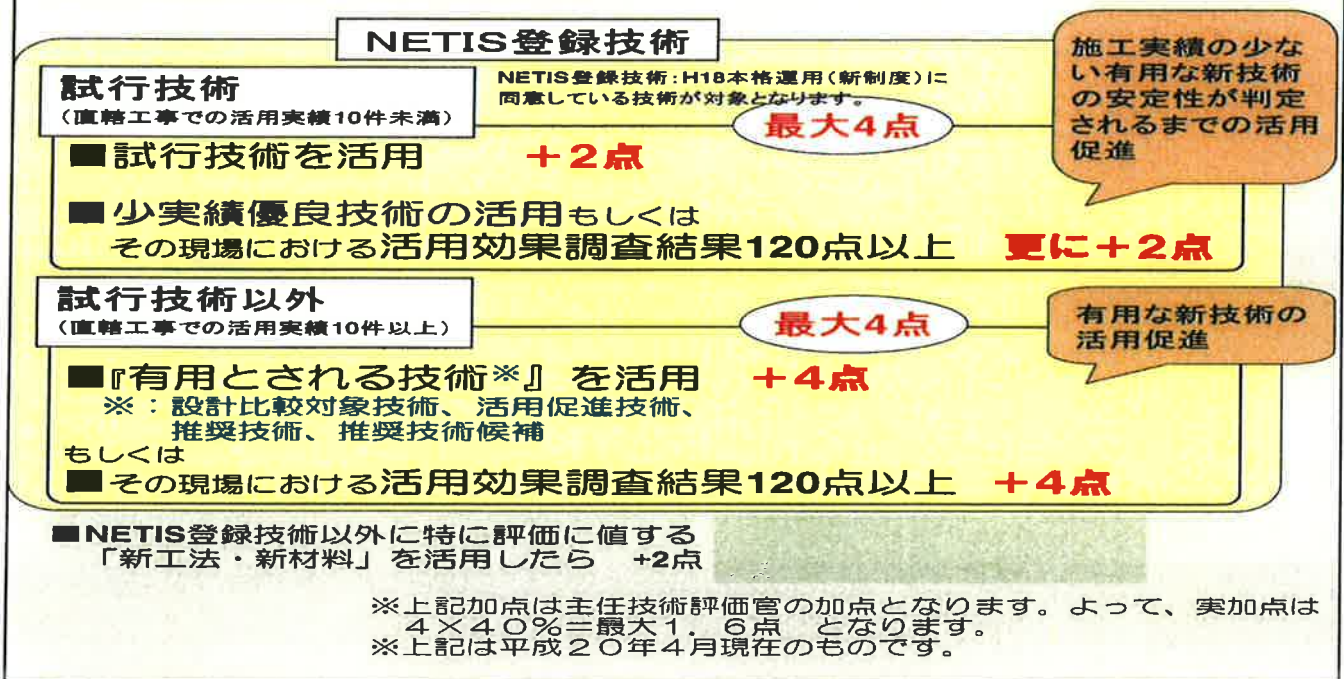


【現場で新技術を提案、活用したら良いことがある！！】

- 新技術の活用を提案すると、工事成績評定での加点の対象となります。また、使った結果の効果が良好な場合は、さらに加点されます。

活用段階

工事成績評定への加点
最大4点の加算



入札段階

総合評価方式での加点

配点は、提案を行った地方整備局等によって異なりますので、内容については各地方整備局等にお問い合わせください。

■ お知らせ

◆第2回(社)日本建設機械化協会研究開発助成制度認定書授与

この研究開発助成制度は、日本の建設事業における機械化を推進し、もって国土開発と経済発展に寄与することを目的としており、それに合致すると考えられる建設機械及び建設施工技術に係る研究開発調査研究に対して助成するものであり、下記対象技術に認定書を授与いたしました。

記

対象技術 道路建設における環境に優しい硬質岩盤剥離掘削技術の開発

助成研究者 呉工業高等専門学校 環境都市工学科 重松 尚久 殿

日 時 2月2日

◆平成21年度建設の機械化施工優良技術者表彰の推薦お願い

建設機械及び機械化施工に従事する優良な技術者等を表彰することにより、建設機械化の推進及び普及並びに機械化施工技術の向上の一助とするもので、当支部では「建設機械の運転・整備」「機械化施工における建設機械、施工等の運用管理」「新技術・新工法の導入・開発」等に携わられた、技術者の表彰を毎年行っております。

つきましては、当支部ホームページをご参照のうえ、貴社社員より該当者のご推薦を頂き、推薦書記入の上ご提出下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 推薦要領 推薦書にご記入の上、4月30日(水)までに事務局宛にお送り下さい。
2. 選考結果 5月中旬に選考結果をご連絡申し上げます。
3. 表彰式 6月9日(火)(第58回支部通常総会の席上)

◆(社)日本建設機械化協会新刊図書発行ご案内

	会員価格	定 価	出版予定
建設機械等損料表(平成21年度版)	6,600円	7,700円	5月中旬
橋梁架設工事の積算(平成21年度版)	7,140円	8,400円	5月中旬
よくわかる建設機械と損料	4,300円	4,900円	発刊済
大口径岩盤削孔工法の積算(平成20年度版)	5,000円	5,880円	発刊済

*価格には消費税が含まれております。

◆(社)日本建設機械化協会中国支部20年度新入会員紹介

会 社 名	部 門	入会年月日	住 所
日東河川工業株式会社	製 造 業	20年 7月 1日	広島市安佐南区川内6-27-43
前田工織株式会社	製 造 業	20年 7月14日	広島南区金山町3-13

*新入会員の会社案内を新入会員紹介コーナーに載せておりますのでご覧下さい。

■ 編集後記

広島では桜の開花宣言もされ、暖かい日と、肌寒い日を繰り返しながらだんだんと春らしくなってきました。いろいろと物議をかもした定額給付金がまもなく手元に届き、高速道路、本四などの通行料金が1000円等となったことから憂さ晴らしに思い切ってどこかに出かけて見ては如何でしょう。

出かけるといえば、前回も紹介しましたが今回もご案内しています「情報化施工研修会」。参加しやすくするために、いろいろ対策(受講費等)がなされています。今後も、随時、新しい情報を当会ホームページ等でお知らせしたいと思いますが、是非一度、こちらの方にも出かけて頂きたいと思っております。

CMnavi編集委員会

平成21年 4月発行 編集・発行 (社)日本建設機械化協会中国支部CMnavi編集委員会 TEL 082-221-6841
〒730-0013広島市中区八丁堀12-22築地ビル402 E-mail jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp FAX 082-221-6831
当支部ホームページは <http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>または「日本建設機械化協会 中国支部」で **検索**